

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和7年1月20日

協議会名:	安田町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>安田町は高知市から東へ約50kmの海岸沿いに位置し、面積は52.36km²、人口は令和6年12月末現在で2,269人である。</p> <p>近年は人口減少と高齢化の進行が顕著になっている他、町内に量販店がないため、まとまった買い物のために隣接する田野町や奈半利町、安芸市に出かける例が多くなっている。</p> <p>本町における公共交通網として、鉄道(土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線:町内に2駅)と路線バス(高知東部交通:主に2路線)、タクシー事業者(2者)が営業を行っているが、既存の路線バス及び鉄道を利用できない地区(いわゆる公共交通空白地区)が多く残っていることに加え、移動手段を持たない高齢者が増加傾向にある。そこで、平成31年3月に策定した安田町地域公共交通網形成計画(現地域公共交通計画)に基づき、まずは町内における公共交通空白地区解消の取り組みとして、令和元年10月よりコミュニティバスの実証運行を行い、令和2年10月より本格運行を開始したところである。</p> <p>令和6年3月には、安田町地域公共交通網形成計画の後継計画となる安田町地域公共交通計画を策定し、引き続き移動手段の確保による地域課題の克服に取り組む一方で、今後は既存の公共交通を含め、その利用状況や利用者及び住民から寄せられる意見等を踏まえ、地域の移動ニーズに対応する公共交通ネットワークへの再編を繰り返していくことで、町民が自分の意思で移動でき、誰もが「自動車のみならずとも住み慣れた場所での生活を継続できる町」を実現していく。</p>